



「死にたい!!」「生きたい!!」と生と死の葛藤かっとうの中でついに長い苦悶くもんは終わった。雪の多いこの地方の長い冬も終わろうとする三月一日、母は小さな骨壺に納まった。あざみの花の面影おもかげを遺のこして。